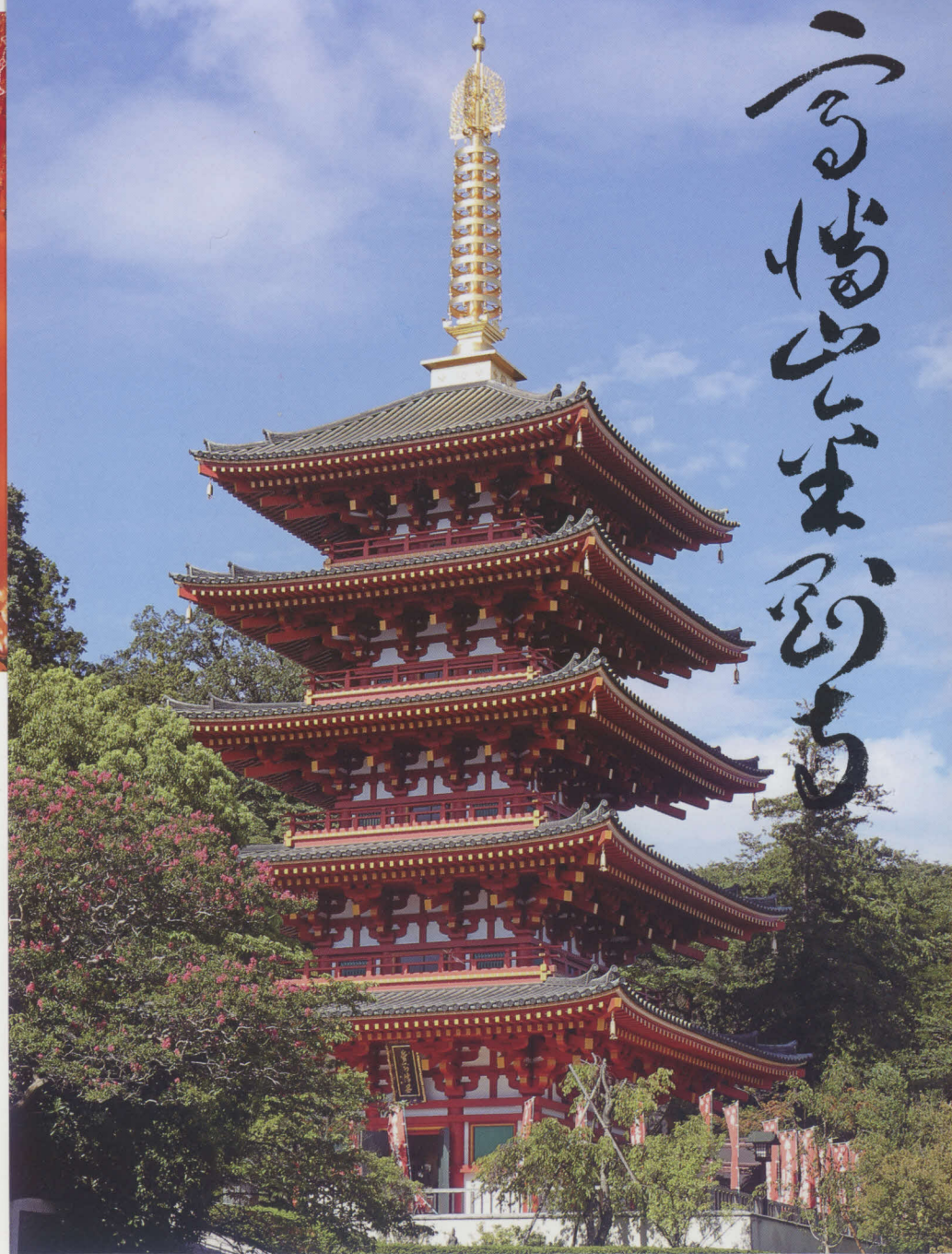


高幡山金剛寺



五重塔 平安時代初期の様式で建てられた美しい塔で、和様、三手先出組、青銅瓦葺、塔高40m、総高45m。

境内散策

万葉集にうたわれた多摩の横山（多摩丘陵）の一角をとり込み、千古の緑に包まれた高幡不動尊三万余坪の境内は、春の椿・山菜薺に始まり、桜（三〇〇株）・紫陽花（七五〇株）・彼岸花（十萬株）・もみじ（一二〇〇株）など四季とりどりの花木に恵まれています。又新選組記念碑・土方歳三像・上杉憲顕の墓・お鼻井戸・芭蕉句碑をはじめ史蹟・文学碑等も多く、裏山不動ヶ丘には山内八十八ヶ所の弘法大師像がまつられておりご参拝に歴史・文学探訪に森林浴に絶好の寺ですのでごゆるりと散策をお楽しみ下さい。

土方歳三像

新選組副長土方歳三は天保六年市内石田の生れ、明治二年五月十一日箱館戦争で戦死。三十五歳。毎年歳三の命日に近い五月第二日曜に、新選組まつりが開催されます。尚歳三の生家は高幡山の檀頭格の旧家です。



大日堂

高幡山の総本堂で数多の尊像が安置されています。昭和62年根本改修工事が完了し、鎌倉時代様式の堂に復原されました。鳴り龍天井や江戸時代の優れた彫刻群、新選組の近藤・土方の位牌、後藤純男画伯の豪快な襖絵等を拝観できます。（尚襖絵は年末から二月中旬まで八福神（江本象岳画伯筆）に変わります）



高幡不動尊金剛寺の沿革

真言宗智山派別格本山、高幡山明王院金剛寺は古来関東三不動の一つに挙げられ高幡不動尊として親しまれている。その草創は古文書によれば大宝年間(七〇)以前とも或いは奈良時代行基菩薩の開基とも伝えられるが、今を去る一、一〇〇余年前、平安時代初期に慈覚大師円仁が、清和天皇の勅願によって当地を東関鎮護の霊場と定めて山中に不動堂を建立し、不動明王をご安置したのに始まる。のち建武二年(一三三五)八月四日夜の大風によって山中の堂宇が倒壊したので、時の住僧儀海上人が康永元年(一三四二)麓に移し建てたのが現在の不動堂で続く室町時代の仁王門ともども関東稀に見る古文化財である。足利時代は「汗かき不動」と呼ばれて鎌倉公方をはじめとする戦国武将の尊崇をあつめ、江戸時代には関東十一檀林・火防の不動尊として広く庶民の信仰をあつめた。当時門末三十六ヶ寺を従えた大寺院であったが安永八年の業火により大日堂・大師堂をはじめ奥院伽藍を一挙に焼失した。その後、歴代住持の尽力により徐々に復興に向ったが殊に昭和五十年以降五重塔・大日堂・鐘楼・宝輪閣・奥殿等の工事が続き、更に近年大師堂・聖天堂の再建工事も完了、漸く往時を凌ぐ程の寺観を呈するようになった。

総重量一、〇〇〇キロを超える巨像で、古来日本一と伝えられた重文丈六不動三尊は千年ぶりの修復作業が完了し、現在奥殿にご安置されており、正面から参拝可。(左の写真及び説明文を参照)



丈六不動明王像并両童子像 重文 平安時代

尊容きわめて雄偉、火防不動・汗かき不動と呼ばれ数々の靈験を伝えています。古来日本一の不動三尊と称えられ、関東不動信仰濫觴の霊像と考えられています。

せいたか童子像 重文
平安時代 230.4cm

不動明王坐像 重文
平安時代 285.8cm

こんがら童子像 重文
平安時代 193.2cm

仁王門 重文 室町時代

仁王門は当初楼門として建立されましたが途中で変更され、楼上の主要部を覆う様な形で切妻の屋根がかけられていました。昭和34年解体修理にあたり楼門に復原されました。



新丈六不動明王像(身代り本尊) 北宗俊作

当山の重文・不動明王像修理の為、身代りの本尊として造立された巨像で平安後期の様式を忠実に継承しています。



木彫・漆塗り・極彩色仕上、坐像280cm

鳴り龍天井・中村岳蓮筆 江戸時代

大日堂外陣天井に描かれた墨絵の裸龍で龍の下で手を打つと妙音を発し、願い事が叶うと伝えられ鳴り龍(成り龍と呼ばれています)。



縦540cm・横720cm

不動堂 重文 康永元年（1342）山中より移建

不動堂は当初山中に建立されましたが、建武二年（1335）八月四日夜の大風の為に倒壊しましたので、時の住僧当山中興第一世儀海上人が現在地に移建した御堂で、東京都随一の古文化財建造物です。



高幡不動尊の文化財と寺宝（太字は国及び都指定文化財）

高幡不動尊は安永八年の大火で数多くの寺宝を消失しましたが、不動三尊像・大日如来像・菩薩像三軀・歓喜天像等の平安古仏をはじめ、約二万点の貴重な文化財・寺宝を今に伝えています。

- 建造物
 - 不動堂 重要文化財 写真参照
 - 仁王門 重要文化財 写真参照
 - 五部権現社殿 重要文化財 寛文十年
 - 不動明王像 重要文化財 写真参照
 - 不動明王像 重要文化財 写真参照
 - 制吒迦童子像 重要文化財 写真参照
 - 大日如来像 市指定文化財 平安時代（十世紀）
 - 歓喜天像・菩薩像三軀 平安時代
- 仏画等
 - 尊勝曼荼羅 重要美術品 南北朝時代
 - 弁財天十五童子 重要文化財 室町時代
 - 古仏画十一点 市指定文化財 鎌倉時代・室町時代
 - 田公実作品群十七点 市指定文化財 江戸時代
- 工芸
 - 不動尊火災刻文 重要文化財 文永十年銘
 - 五部権現神牌 重要美術品 康永元年銘
 - 太刀 伝伯耆安綱作 平安時代
 - 三條宗近作（在銘）北条氏照所持 重要文化財 応永二十二年長弁和尚文案
 - 勸進状 重要文化財 南北朝時代
 - 聖経類 像内文書（六九点） 重要文化財 平安時代（安和二年）
 - 弘法大師ご遺告 重要文化財 鎌倉時代
 - 理趣経曼荼羅 重要美術品 平安時代
 - 八箇大事 重要美術品 平安時代
 - 神護寺経 重要美術品 平安時代
 - 金剛寺文書 重要文化財 江戸時代（四、一〇点）
 - 土方文書（八点） 重要文化財 室町・桃山時代
 - 古書・古経集 市指定文化財 室町時代 今川範政筆
 - 古文の板碑 市指定文化財（約八、〇〇〇点） 鎌倉時代（文永八年）
 - 新選組記念碑 市指定史跡 明治九年銘 二十一年建立
 - 新選組関連資料群 数十点 幕末・明治初年
 - 山菜更及び愛宕山の自生針葉樹林 市指定天然記念物
- その他
 - 護摩修行
 - 平日：八時・十時・十一時半・一時・三時
 - 但し 一日・十五日の午前は五時・十時・十一時半
 - 土・日曜・祝日の午後は一時・二時半・四時
 - ご縁日（二十八日）五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時
 - ※一月中は別の時間帯となります

塔山のもみじ（十二月下旬）



案内 お祭りと年中行事

- 1月元旦・2日・3日 元朝祈願大護摩修行
- 1月元旦・節分 厄除ほのほうちわ授与
- 1月15日 初弁天祭 厄病除牛王宝印可
- 1月21日 初弘法大師
- 1月28日 初不動大祭 稚児練供養、だるま市
- 1月31日 豆煎り式
- 2月節分 豆撒式
- 2月15日 涅槃会（釈尊入滅法要）
- 3月21日 弘法大師正御影供（彼岸会）
- 4月8日 花まつり 釈尊降誕会
- 4月28日 春季大祭 国宝まつり・稚児練供養
- 5月第2日曜 新選組まつり
- 5月28日 正五九例祭
- 6月1日・7月初旬 あじさいまつり
- 6月15日 青葉まつり（弘法大師誕生会）
- 8月15日 うら盆大施餓鬼法要
- 9月28日 秋季大祭 大般若会
- 10月下旬・11月中旬 菊まつり
- 11月中 七五三詣
- 11月下旬 もみじまつり
- 11月23日 万燈会・もみじ灯路
- 12月冬至 星まつり
- 12月28日 納めの不動尊・年の市
- 12月31日 除夜の鐘供養

- 毎月
 - 第二日曜 フリーマーケット（リサイクル市）
 - 第三日曜 ござれ市（がらくた市）
 - 二十一日 月例写経会（一時半）
 - 二十四日 千体地藏尊月例回向（二時）
 - 二十八日 ご縁日
- 毎日
 - 護摩修行
 - 平日：八時・十時・十一時半・一時・三時
 - 但し 一日・十五日の午前は五時・十時・十一時半
 - 土・日曜・祝日の午後は一時・二時半・四時
 - ご縁日（二十八日）五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時
 - ※一月中は別の時間帯となります
 - 交通安全祈願
 - 午前九時～四時半まで三十分ごとにご修行
 - 奥殿寺宝展拝観……（三〇〇円）
 - 午前九時～四時（月曜休館）
 - 尚午後一時四十分から当山職員による案内説明
 - 大日堂鳴り龍拝観……（二〇〇円）
 - 午前九時～四時（月曜休館）

〒191-0033 東京都日野市高幡七三三
高幡山金剛寺
 電話（〇四）二五九一・〇〇三三（代）
 FAX（〇四）二五九三・〇〇三八
 〈振替〉高幡不動尊金剛寺
 〇〇一〇〇・八・五四一二四
 平成二十九年五月 第十五版

樹齢
 一〇〇～二〇〇年 三五〇株
 三十年位の稚木 一、〇〇〇株

名物 高幡まんじゅう

日野市高幡1番地1

FAX 042-592-3629

<http://www.svoseido.co.jp/>



○仕出し弁当承ります。

そば処 関運そば

URL <http://www.kaiun.jp>

〒191-0031 東京都日野市高幡149番地

TEL 042-592-3553

門前茶屋

千寿庵

TEL 042-591-0223

日野市高幡1番地13

桑の葉うどん

高幡不動尊境内

峠の茶屋

あおい

日野市高幡733境内

TEL.042-660-5123

<http://www.takahatafudosen.or.jp>

